

Letter from Tsuruno Meguro to Fumio Fred and Yoneko Takano, June 21, [1945]

二三男・米子さん

パパにタバコ新聞御送り下さいまして、有難う御座いました。パパよろこんで居ります。パパ手紙上げるのです。けれどはたらいておりますから、なかなか書きませんから、ママ書きます。サンデーにかくというております。チャンロップの水かけしています。ローサニマスの水かけよりらくというて居ります。ブーツ履はかないでシュシで水はデンキで井戸からあげるそうです。

ベンさんツラクタで、カナベラしています。私達住んでおる所はソーガスのタウンです。タウンというてもシトア（ストア）が一軒、クラチが一軒、洋食屋一軒。コロラドのヘステのような所です。汽車が通ってリッポーがあります。ヘステによくにしていますよ。ドコのヤードにも大きなカットンツリー（コットンツリー）があります。ヤードがひろいから野菜まきました。ハタケまで三哩あるそうです。おなが自動車とジャス（ガス）だしてくれませす。家も水、電気、ジャス（ガス）とみなはらってくれませす。そしてベンさん一カ月百五十弗のやくそくで来たのです。パパいくらくれるかわかりませす。二十八日で一ヶ月になりますから、その時わかります。

パパホケンねがって二年もらっています。21.50 一カ月ニカ年その金のこしてローサンゼルスへ来てバンクへいれました。良のもすこしもつかわないであります。良の去年六月から十二月までためましたの。良、汽車ちんとつかいにつかいました。そのあと、十二月からためたのもみなバンクへいれました。七百円ですから米子や、心配しなくてもよろしいのよ。良、37.00 もらっています。キャンプ出るとき、白人がローサンゼルスへいったならねがって 68.00 もらいなさいと教えられましたから。手紙出して願いましたところ、サンハナンドからしらべにきました。おかねいらないけれどもいくらでも良にのこしてやりたいと思うからねがいました。良からねがうと早いから手紙出しなさいと教えていきました。たべるくらいは働くから。こないだよし子 100 円送ってくれましたの。こまると思つてかえしのも悪いからもらつておきました。心配してくれる其の心ばかりでうれしいですよ。

良からもてがみいただきました。すきなメカニックの仕事しておるそうですから安心してあります。こないだフランスで良といっしょに病院におつたハワイのボーイ、テキサスの病院から手紙くれました。良は戦争にいかなくもよいから安心しなさいというてくれました。イノさんのジミ、ケガして病院にはいっておりますそうです。

ヨシ子もミサ子もきたいというからよびませす。働いてつれておるでしょうから秋になつて空家出来ましたらなら、ローサンゼルスへいきます。なかなか外へ出ましてもニクはなしタマゴはなし。シタンプ（スタンプ）で買いますのでめんどうです。でも自分でコックしてたべませすとおいしいですよ。

あんた達も出られるようになりましたならローサンゼルスへ来なさいよ。それから荷物もリッポーからベンさんオナのツラッカーかりでもってきました。アイスボックス(アイスボックス)、センタクミシンうらないでほんとうによかったと思います。なにもこわれないうちできました。ジャスシトーフ(ガスストーブ)とベッドかえました。なにもふじゆうのないほんとうによい所ですよ。

三年前ポモナへ行く時、ハートマウンテンにおったこと、今はまたここへ帰り夢のような気持ちします。島津さん、家賃しから早くいけといいますからあまり忙がわしいので、よるところへもよらず、デンバーに十一時間やすんで、ラハンタに三時間、べつの汽車がおくれたので、平?さんに電話かけようと思いました。けれども、よなかの一時でしたから、かけませんでした。島津さんに十一日とまって、またここにきました。どうせ私達ホテル(ホテル)にこよようと思っていたのですから、なんとも思いませんけれども、口と心はあの人とちがいます。こんどはほんとうにわかりました。人を悪くいへたくもなし、ハートマウンテンの人たち悪くいっておるそうですよ。

こないだ家の中百度に二三日続きました。きのうからずしくなりました。キカンポー(キュウリ)も、ネギ・ダイコン・ビズ・コン・レタク・チャベツはえました。いつ出来るかたのしみですよ。子供達も気候がよいからカゼもひかず、よくあそびます。ヨシ子ミサ子きましたなら、にぎやかなことでしょう。いつ頃来ますかまだわかりません。

あこがれの加州へかえりましてただうれしいうれしいで心がいっぱいです。あんた達も早く来られますよう祈り居ります。パパママさんによろしく。さようなら

ママ

六月二十一日

二三男・米子様